

■ 事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■ 例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■ 例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：渡邊 有 幹事：遠山良浩 発行：会報・広報委員会

第 3429 例会（3号） 2026 年 7 月 16 日（木）晴れ

## 会員卓話 SPEECH



福島民報社いわき支社

支社長 渡部 総一郎さん

入会して3カ月余りということですので、自己紹介の意味で、私の思い出に残る仕事、さらには新聞業界の現状について簡単ですがお話をさせていただきます。

私は入社して31年目になります。もともと新聞記者になろうと考えていたわけではありません。漠然とエンターテインメント業界を志向していましたが、なかなか就活がうまくいきませんでした。渡部家は会津坂下町で代々続いた農家で、私は本家の長男です。そんなことも頭にあって、昔から家で購読していた福島民報の試験を受けたら採用された、という次第です。エンタメとはずいぶん違いましたが、人の心を動かす仕事でもある点は共通しているのが新聞社を選んだ理由だと思います。

30年でどれくらい記事を書いたのか、会社のデータベースで調べると約1万1千本でした。登録されていない記事もありますので、実際は1万5千本くらいあるかと思っています。具体的にどんな仕事をしていたかという、入社して約1カ月ほど過ぎたころに書いたのは、福島医大に入院している子供たちが、両親家族と一緒に時間が過ごせる場所をつくろうと、福島市の主婦グループが取組を始めたという内容でした。私はそうした子供がいることは当時知りませんでした。映画館でたまたまチラシをみて取材しました。その後も何度か記事に取り上げ、数年後には「パンダハウス」という施設ができあがり、現在も続いています。個人的には、わずかでも役に立たたかもしれないと手応えを感じることができ、私の仕事の土台となっています。

地方紙は、こうしたローカルな話題を専門に扱いますが、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故によって、国とも強く向き合うようになりました。復興に向けて、地域の声を国に届ける。課題を指摘し、解決を求め、県民が望む復興へとつなげる。これは今も会社の最優先課題であり、私にとってもライフワークです。

2013年4月から2年間、東京支社に勤務となり、復興政策が形づくられる現場をみることができました。思い出深いのは原発賠償、原発の凍土遮水壁、ロボットテス

トフィールドなど。決定過程を取材し、1面トップ記事で書きました。ただ、東京では夜7時から会議が開かれることが多かったのはまいりました。難しい話ばかりなのに仕上までの時間は1時間程度しかなく、どこまで伝えられたか、思い返すと冷や汗が出ます。

当時、安倍首相に単独インタビューを申し込みました。しかし、官邸からは色よい返事がありません。そこで翌年は同じ被災地の岩手日報、河北新報と協力して共同インタビューをお願いしましたが、これも駄目。私は3社の代表として3回目のお願いを担当しましたが、官邸からは「3月11日夕方の記者会見のときに質問できるかもしれません。できないかもしれないですが」との回答。実際に質問はできたのですが、被災地に対する姿勢をテレビ中継を通じてアピールしたかったであろう官邸にとっては、「効果が薄い」と判断したようです。翌年、ようやくインタビューに応じてもらえるようになりました。ただし、共通質問が1問と各社1問ずつという条件つきでした。首相インタビューはその後、現在まで毎年続いています。スタイルは変わらず、「もっとじっくり答えてもらえないのか」と釈然としないところはあります。復興のゴールはみえませんが、いつかどこかで「インタビューはもういいでしょう」といわれないよう、われわれは走り続けたいといけません。

新聞を取り巻く状況についてお話しします。ネットで情報が無料で読めるようになり、SNSでは真偽不明の情報が流布しています。SNSは特に選挙で積極的に使われるようになり、全国各地の選挙に大きな影響も出ています。兵庫県知事選、そしてお隣の宮城県知事選でも真偽不明情報やデマが流れ飛び、新聞をはじめとする既存メディアへの不信感も渦巻きました。報道機関として、デマを放置はできません。最近はファクトチェックとして、真偽不明情報を検証し、間違っていれば指摘する記事も出ています。難しい部分もあるのですが、試行錯誤しながら続けていく必要があると思っています。オールドメディアといわれていますが、長年積み重ねてきた信頼こそ新聞というメディアの強みと考えています。特に福島県の動きを知ろうと思えば、福島民報を読んでいただくのが1番です。ぜひ朝の30分ほど新聞に目を通す時間をつくっていただければと思います。地域に貢献できるように、これからも正しい報道に努めます。

# 「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

## 司会：遠山良浩幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・四つのテスト（黒須幸雄会員）〕

### ★ 結婚祝



松村 耕平さん



岡田健太郎さん  
(7月31日)

鈴木 弘康さん  
(7月6日)

常盤 傑さん  
(7月7日)

### ★ 誕生祝



三瓶 和秀さん  
(7月20日)

岡田 大輔さん  
(7月29日)

ハッピーバースデーソング斉唱

### ◆退会あいさつ



トヨタカローラいわき

社長 高橋 靖夫さん

トヨタカローラいわきの代表取締役社長を退任することになりました。いわき地域でこれからやりたいこともたくさんあった中で、このような急な話になり大変残念です。在籍期間は1年間という短い間でしたが、普段なかなか交流のできない異業種の皆様と出会えたことは非常に貴重な体験でした。これを糧に新しい環境でも励んでいきたいと思っています。東京からいわき地域の活性化を祈念しております。1年間、大変お世話になりました。

## ◆会 長 挨 拶

第3回例会に出席ありがとうございます。

一般的に、通勤の際には徒歩だったり車だったり移動されることが多いかと思います。

仕事とプライベートでトヨタの車を愛用しているのですが、その日初めて乗るときに、曜日と記念日を車から行ってくるのですが、本日7月16日は「虹の記念日」「駅弁記念日」だそうです。虹の記念日は語呂合わせでナナイロだそうです。駅弁記念日は、明治18年7月16日に日本鉄道東北線の宇都宮駅で、宇都宮駅と大宮駅が開通したので、宇都宮駅前の旅館が弁当を販売したそうです。いずれも、社団法人日本記念日協会により登録されております。

皆さんも、この協会に1件20万円から記念日協会に登録

して審査会による審査に合格すれば、記念日として正式に登録されるそうです。会社の創立記念日など、登録してみたいかがでしょうか。

話は変わりますが、昔テレビで ナイトライダーというドラマがあったのを観たことある人はいますでしょうか。車と主人公が会話をしながら悪をやっつけていくような話でしたが、今の車は温度設定だったり、電話だったりを会話で設定できるようになっています。自分自身も、使用しているのですが、いわき弁で話しかけるとよくわかりませんと言われてしまいます。

AIが発達してきたら、スピードを出しすぎたら違反ですとか、飲酒した時など運転できませんなってくれば事故少なくなるかなと思いますが、まだ、AIに善悪の判断は付かないようです。

## ◆幹 事 報 告

- ・ハイライト米山が届きました。

## ◆委員会報告・会員報告

### ◆S.A.A（有賀行秀会場監督）

| 例会日   | 基本会員数 | 出席者 | メーキャップ数 |
|-------|-------|-----|---------|
| 7月16日 | 45名   | 25名 | —       |

### ◆ロータリー財団委員会（飯野光世副委員長）

飯野光世さん、渡邊有さん、阿部弘行さん、関口武司さん、森雄治さん、鈴木東雄さん。以上6件

### ◆米山記念奨学会委員会（森雄治委員長）

森雄治さん、鈴木東雄さん、関口武司さん、阿部弘行さん、飯野光世さん、渡邊有さん。以上6件

## ◆スマイルボックス委員会（出島規弘委員）

♥岡田健太郎さん（結婚祝ありがとうございます。夫婦生活は現状維持で何とか乗り切りたいと思います！）♥三瓶和秀さん（誕生祝ありがとうございます。60代最後の1年です）♥郡二三子さん（松村さんご結婚おめでとうございます。高橋さん、残念ですがお仕事頑張ってください）♥渡邊有さん（渡部支社長、卓話宜しく願います。高橋様ありがとうございます）♥黒須幸雄さん（暑くなりました。渡部さんの卓話楽しみです）♥小野寺順正さん（渡部さん卓話楽しみにしています。よろしく願ひ致します）♥関口武司さん（渡部さん卓話宜しく願ひ致します）♥鈴木東雄さん（渡部会員卓話よろしく）♥伊藤盛敏さん（渡部さん卓話ご苦勞様です）♥鈴木雄大さん（渡部さん、卓話よろしく願ひいたします）♥渡辺直之さん（本日もよろしく願ひ致します）♥出島規弘さん（本日もよろしく願ひ致します）以上12名

★本日の例会案内 7月30日（木）18：30～  
納涼例会・夜間例会（於・魚正）

★次回の例会案内 8月20日（木）12：30～  
通常例会・ガバナー卓話

※8月6日(木)と13日(木)は休会